

人間の証明

PROOF OF THE MAN



母さん、僕あの帽子、
どうしたでしょうね？

ええ、夏碓氷から

霧積へ行くみちで

谿谷へ落とした

あの麦稈帽子ですよ

母さん、

あれは好きな帽子でしたよ



Mama, Do you remember

僕はそのとき、

ずいぶんくやしかった

だけど、いきなり風が

吹いてきたもんだから

——母さん、ほんとにあの帽子

どうなったでしょう？

今夜あたりは、あの谿谷に

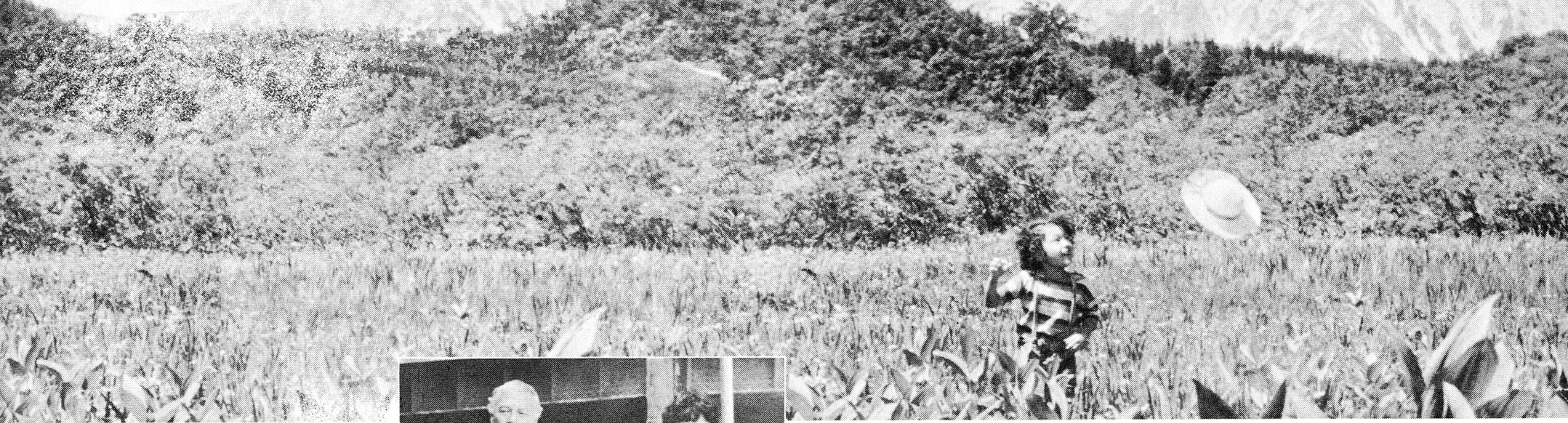
静かに雪が

降りつもっているでしょう



製作／株式会社 角川春樹事務所
配給／東映株式会社
カラー・パナビジョン

東京=ニューヨークを結ぶ壮大な 人間愛のドラマ—角川映画第2作



●製作費6億、角川映画総力の第2作！
日本映画界に空前のブームをまきおこして大ヒットした「犬神家の一族」に続いて、角川映画が放つ第2作「人間の証明」。

若手ミステリー作家の第一人者、森村誠一の同名ベストセラーを、ベテラン松山善三が脚色し、俊英佐藤純弥監督がメガホンをとって完全映画化するこの作品は、舞台を日本とアメリカにすえて、総製作費6億円を投じ、日本映画初の本格的ニューヨーク長期ロケを含めて5カ月にわたる撮影を展開して、壮大なスケールで描く、サスペンス・タッチの人間愛のドラマである。

●それは、ある殺人事件に始まった
大都会東京の、とある一流ホテルのエレベーターの中で、アメリカ国籍の混血青年が殺された。事件解明のため、東京とニューヨークを結ぶ、広大な捜査布陣が敷かれたが、手懸りは、現場に落ちていた一冊の詩集と、被害者が死に際に口走った「ストウハ」という謎めいた単語、そして彼がニューヨークを発つとき、アパートの管理人に言い残した「日本のキズミトに行く」という言葉だけだった。

●謎を解きほぐす一篇の抒情詩
捜査は困難をきわめ、あわや迷宮入りか？と思われたある日、居酒屋の片隅でひとりの



映画化に寄せて

森村誠一

この「人間の証明」は、これまでの私の作品の集大成であり、推理作家としての私自身の証明でもあるのです。
学生時代、群馬県境にある霧積という温泉に旅行をした折、ふとしたことでめぐり合い、その美しさにとっても感動した、故西条八十氏の「帽子」という抒情詩をモチーフとして、誰の心にも宿っている、母への憧れとなつかしさを私なりに書きあげてみました。ですが

客がふと口誦んだ、西条八十の「麦稈帽子」の詩がキツカケとなって、複雑にもつれ合っていた糸が、またたく間にほぐれ、そして事件は、東京とニューヨークという国際的大都会から、山峡のひなびた温泉・霧積へと意外な展開を見せはじめたのだ。

●霧積—そこには哀しい母の宿命が
国会議員の夫人として、一流ファッション・デザイナーとして、満ち足りた日々をおくる、美貌の中年女性。彼女には、霧積にまつわる美しい過去があった。しかし、その過去が突然目の前に現われたとき、彼女は、満ち足りた《今》を守るために、その美しい想い出を抹殺せねばならぬ宿命を背負った。それは、哀しい母の業であった。

●物語は感動をたたえて深く！
戦後30年—、そこには、様々な人間のさまざまなドラマがある。
母と子、父と子、男と女、そして男と男。運命の奔流に押し流されまいと、ひたむきに生きようとする人々が、宿命的な絆でむすばれつつ、愛し、悩み、そして散ってゆく。
人間とは何か、母とは、愛とは—。映画「人間の証明」は、深い感動をたたえつつ、人々の生きざまを、美しくそして哀しく謳いあげてゆく。

ら、これまでの推理小説と決定的に違うのは、犯人を追求する場面でも、人間の感情、母の優しさに訴えかけるという手法をとった事です。
この小説の映画化にあたり、原作者としては、こういったところを、どう感動的に表現していただけるか、とても楽しみにしているわけです。
これまでの例からみて、原作者が映画の中に身を入れるという例は、あまり面白いものがないので、このたびも私は、丁度娘を嫁に出した父親の心境で、一步距離をおいた立場から、映画「人間の証明」の成功を見守っていきたいと思っております。

製作/角川春樹
原作/森村誠一
脚本/松山善三
監督/佐藤純弥
撮影/大野真久
音楽/大野雄二
主題歌/ジョージ山田
「人間の証明のテーマ」
プロドリック・クロフォード
ハナ
岡田茉莉子
松田優作
岩城滉一
坂口良子
高沢順子
シエナ
ジャネット・リ
范文雀
夏八木文
和田浩木
和田浩木
室田日出
鈴木瑞穂
大滝秀治
峰岸武夫
地井武男
ジョージ・ケネディ
佐藤蛾次郎
鈴木ヒロミツ
E・H・エリック
テレサ・メリット
ロバート・アール・ジョーンズ
ゲスト出演
森村誠一
深野欣二
今野二子
田村順子
西川峰子
小川宏
リック・ジェイソン
長門裕之
北林三郎
伴淳三郎
特別出演
鶴田浩二

10月8日(木)ロードショー 東京労音特別鑑賞券 ¥850 (会員に限り一般) (1300円のところ)

日比谷映画 (591)5353
新宿プラザ劇場 (200)9141
新宿ロマン劇場 (351)3674
渋谷東宝 (461)2268
池袋劇場 (971)8361
江東リッツ (631)3120